

公園における空間デザインの検討状況

（平成 28 年度第 2 回高田松原津波復興祈念公園震災津波伝承施設検討委員会 資料）

平成 29 年 2 月 21 日

1. 公園の全体平面図(案)

【現在、実施設計において関係機関と協議調整中】

国営追悼・祈念施設(仮称)及び周辺区域

一追悼・鎮魂の場となる空間一

- ・岩手県内の震災の記憶と教訓の伝承、復興への意志を発信する震災津波伝承施設を、道の駅の再整備と併せて一体的に整備
- ・これらの施設は安全面も考慮し避難距離が長くないように設置し、各種イベント等にも使用可能な広場を隣接して整備
- ・周辺の賑わいある空間を築山によって仕切り、海へと向かう軸線と併せ、静謐な空間を整備
- ・震災や津波の記憶を継承するため、タビック45を活用し、震災津波伝承施設との繋がりを強化
- ・震災や津波の記憶を継承するため、復興のシンボルである奇跡の一本松と共に、ユースホテルや周辺の水辺、マリナー等を可能な限り活用
- ・中心市街地から連続して川原川沿いに桜並木を整備し、かつての野外活動センターを偲ぶことの出来る花見空間を創出

川原川とシンボルロードに挟まれた区域

一中心市街地と公園を結ぶ憩いの空間一

- ・川原川沿いに憩うことが出来る、中心市街地や川原川公園(市整備)へと連続する緑空間を整備
- ・市民の日常的利用が可能な広場を整備
- ・災害時の高台への避難に配慮し、目的地への視認性を高める園路を整備
- ・かつて存在した市街地の記憶を継承する市道跡・JR踏切跡を活用

国道45号北側部

一かつて市民に親しまれてきた憩いの場・運動施設等の活動空間一

- ・運動施設等の活動空間(野球場、サッカー場や広場等)

主要アクセス道路からの入口に位置する区域(下宿定住促進住宅周辺区域)

一震災遺構を活かした公園の顔となるゲート空間一

- ・高田松原から連続的にマツを植栽し、通岡IC方面からのアクセス時、マツ林を抜けて広がる公園への眺望を確保
- ・津波浸水深等を視覚的に理解・伝承するため、下宿定住促進住宅を活用

主要アクセス道路からの入口に位置する区域(気仙川右岸周辺区域)

一震災遺構を活かした公園の顔となるゲート空間一

- ・(仮)長部IC方面からのアクセス時、公園および市街地への眺望を確保
- ・津波浸水深等を視覚的に理解・伝承し、日常的な避難の重要性など、ハード・ソフト両面での津波防災の必要性に対する理解を促進するため、気仙中学校とグラウンドを一体的に活用
- ・市民が自由に参加し作り上げていける場として、「市民協働エリア」を設ける

高田松原及び古川沼周辺区域

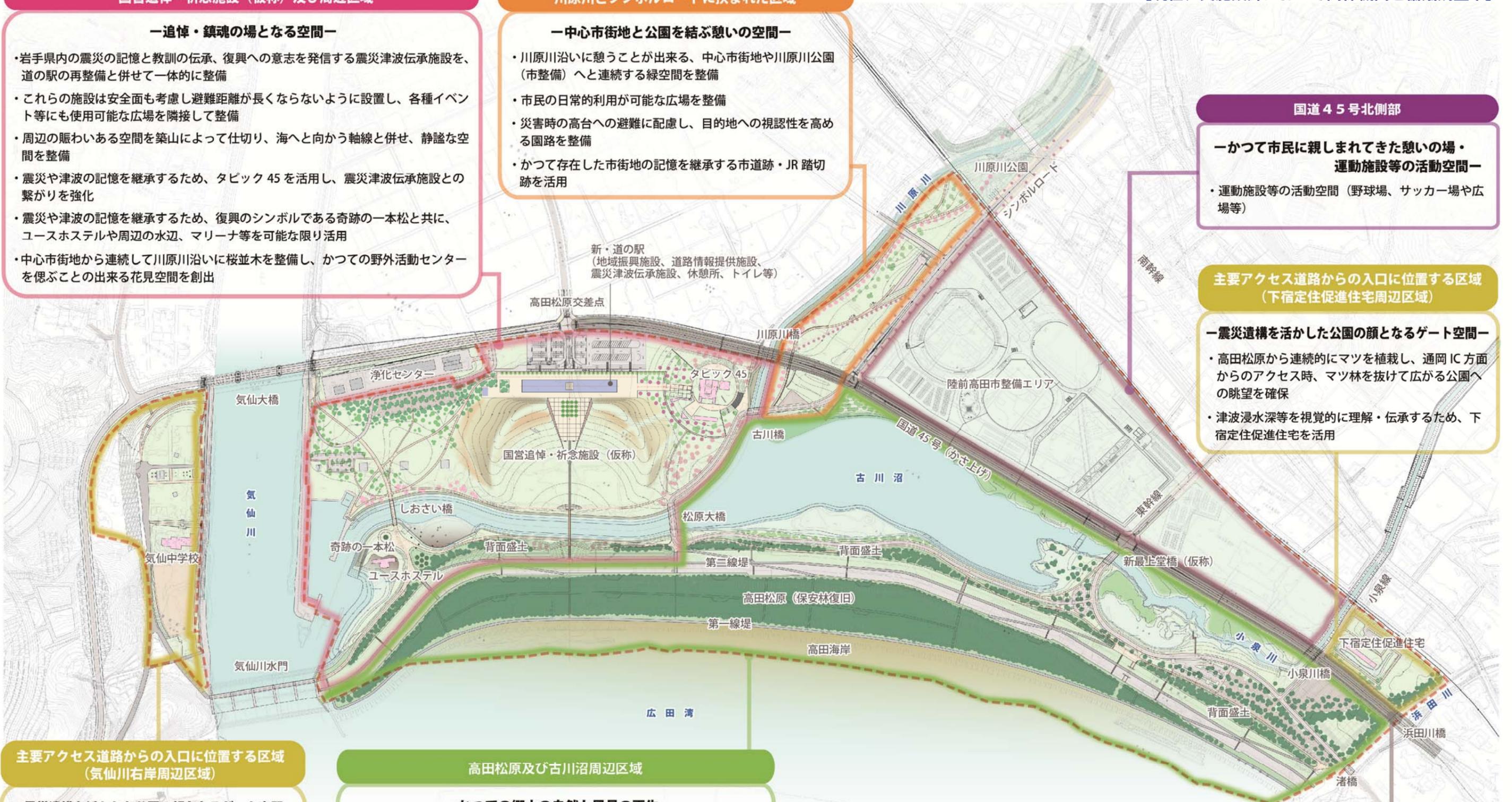
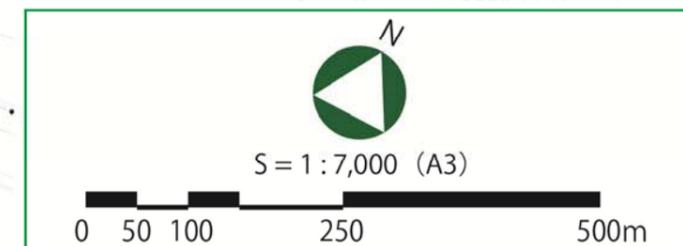
一かつての郷土の自然と風景の再生一

- ・名勝高田松原の復旧・再生のため、第一線堤～第二線堤間に保安林を復旧すると共に、可能な範囲で第二線堤陸側に盛土を行い、市民参加・協働を得ながらマツ林を形成
- ・さらに第二線堤陸側へもマツを植栽し、保安林と一体的にマツ林を整備
- ・古川沼や小泉川の環境・地形を活かしながら、生物多様性にも配慮する水辺空間を創出
- ・海岸からの避難に十分に配慮した道路・園路等を整備
- ・松原散策やジョギング等が可能な周遊動線を確保

国道45号(パークウェイ)

一公園との空間的な調和を図る接続空間一

- ・幅広路肩を設けることにより、開放的な道路空間を創出し、周辺環境との一体感を確保(防護柵無しで車両の逸脱を防止)
- ・公園と隣接して自歩道を配置することにより、公園内の園路機能を充実



2. 国営追悼・祈念施設（仮称）及び周辺区域平面図（案）

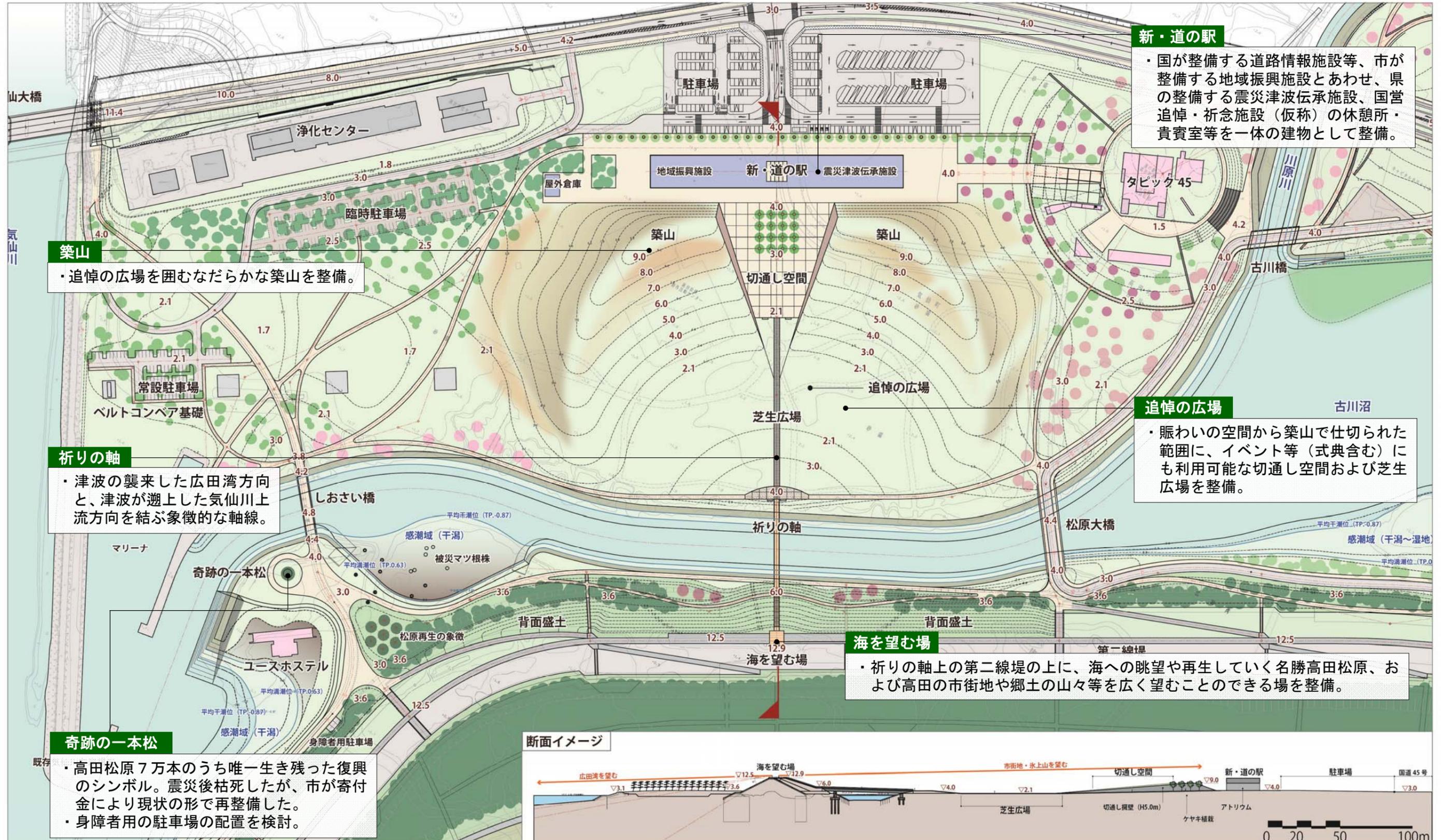
【現在、実施設計において関係機関と協議調整中】

— 追悼・鎮魂の場となる空間 —

高田松原津波復興祈念公園に整備される国営追悼・祈念施設（仮称）は、犠牲者への追悼と鎮魂、震災の被災の実情と教訓の伝承、復興への強い意志と力の発信の場として、津波の来襲した広田湾から津波がさかのぼった気仙川へと至る「祈りの軸」を中心に、「奇跡の一本松」、復旧される重点道の駅「高田松原」、震災遺構「タピック45」、海岸防潮堤等と一体となった空間として、イベント等（式典含む）にも利用可能な広場等を整備する。



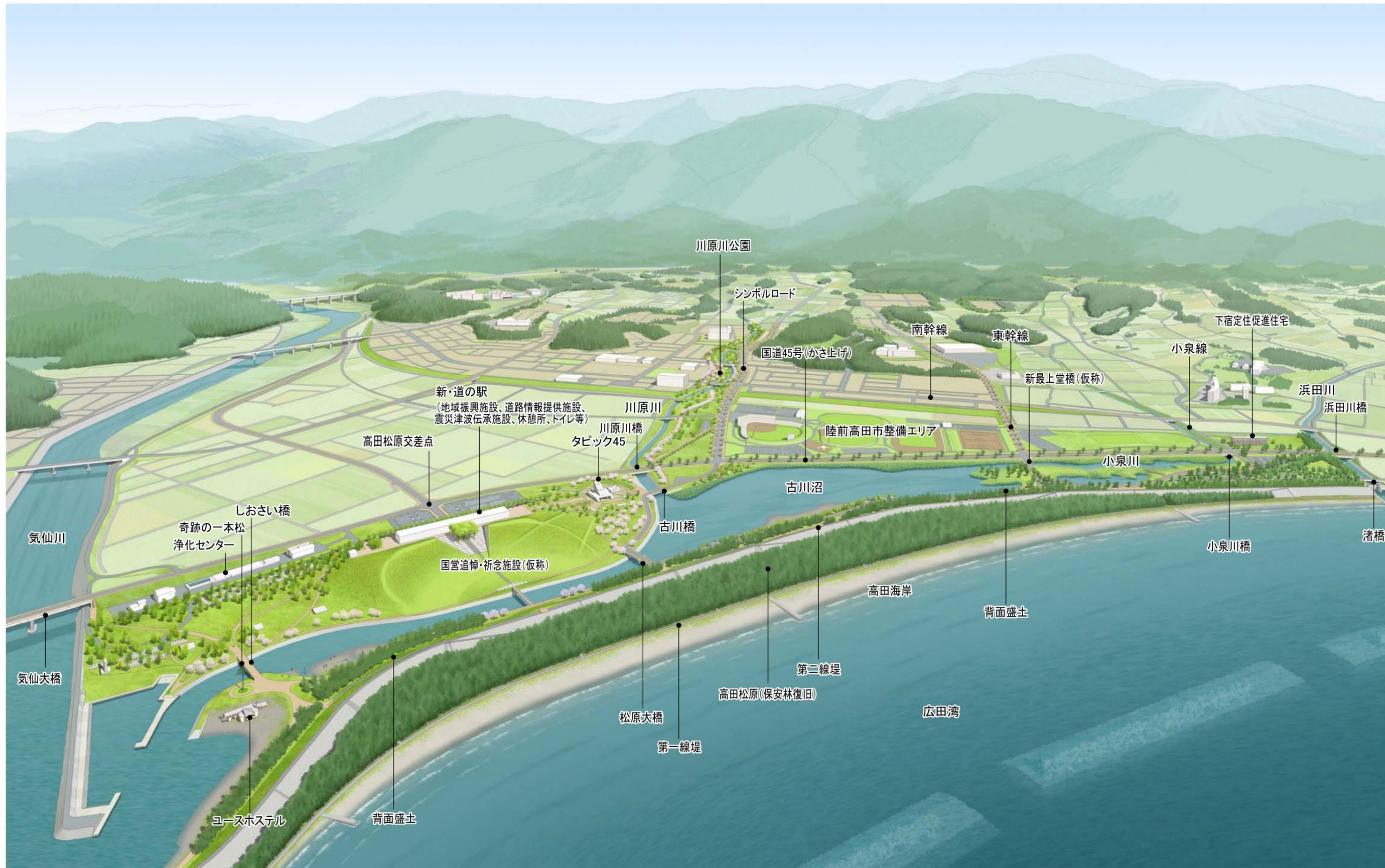
0 10 50 100 200m



3. 国営追悼・祈念施設（仮称）及び周辺区域の鳥瞰イメージ

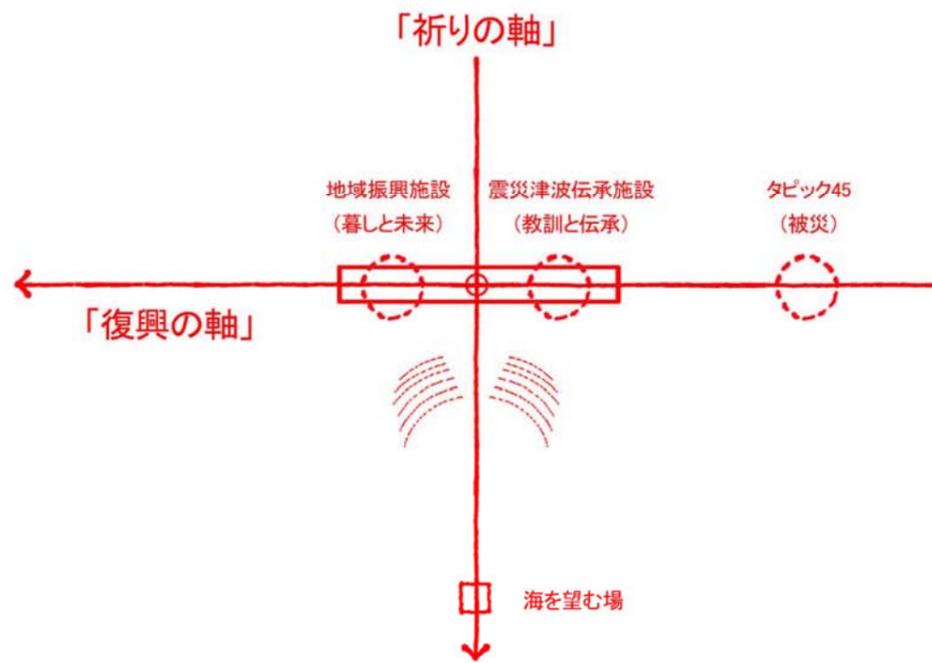


4. 公園全体の鳥瞰イメージ



5. 国営追悼・祈念施設（仮称）管理棟・新道の駅計画概要

■全体計画ダイヤグラム



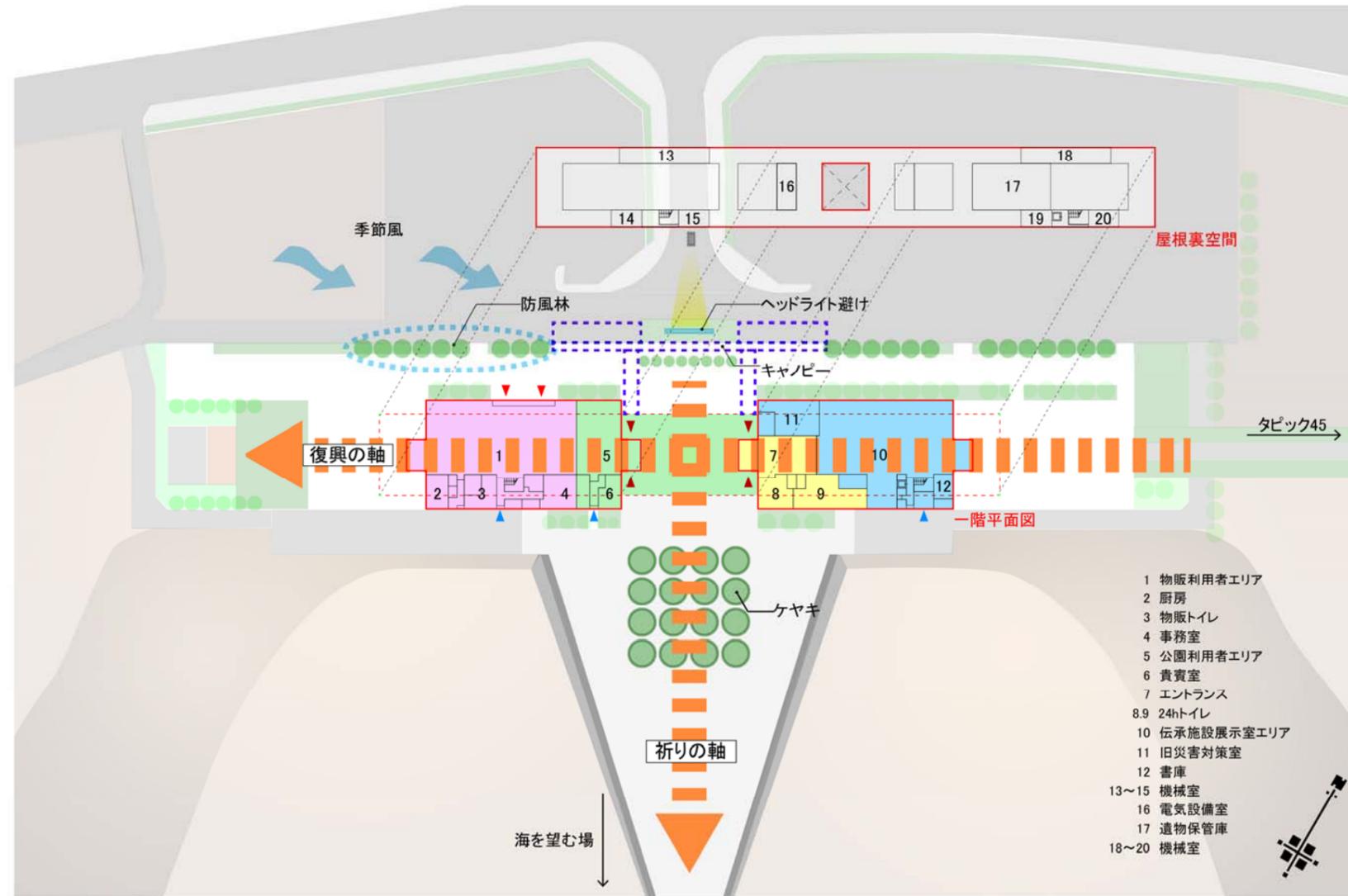
「復興の軸」

震災遺構は 災害を
 震災津波伝承施設は 教訓と伝承を
 地域振興施設は 明日を生きる暮らしを

「祈りの軸」

今次の災害の憶いを 未来に伝える。

■建築概要



- 1 物販利用者エリア
- 2 厨房
- 3 物販トイレ
- 4 事務室
- 5 公園利用者エリア
- 6 貴賓室
- 7 エントランス
- 8.9 24hトイレ
- 10 伝承施設展示室エリア
- 11 旧災害対策室
- 12 書庫
- 13~15 機械室
- 16 電気設備室
- 17 遺物保管庫
- 18~20 機械室

高田松原国営追悼・祈念施設（仮称）管理棟 S=1/1500

■外観パース



施設入口より祈りの軸を見通す